

press release

2008年2月19日

スタンダードチャータード銀行主催 GROE香港マラソンに 視覚障害者ランナーとともに同行行員が出場、パートナーシップを築く

スタンダードチャータード銀行(本店:ロンドン、CEO:ピーター サンズ/東京支店:東京都千代田区、CEO:パトリック ジロ)が主催するグレイテスト・レース・オン・アース(GROE)のひとつ、香港マラソンが2月17日(日)に行われ、視覚障害者4名、肢体障害者1名を含むアキレストラッククラブメンバー7名とともに、当行在日支店のスタッフ6名がガイドランナー、ブロッカーとして、10キロレースに参加、全員完走しました。



2008年香港マラソンスタート



スタンダードチャータード銀行日本チーム

GROEは、ナイロビ、シンガポール、ムンバイ、香港の4都市で開催されるマラソンのチーム総合タイムを競うリレーマラソンで、香港マラソンはその最終レースです。香港マラソンは、香港で大変人気の高い市民マラソンで、今年は、10キロ、ハーフ、フルマラソンのレースに総勢5万人が参加しました。アキレストラッククラブのメンバーたちは、3万人のランナーがあふれた10キロレースを、ガイドランナー、ブロッカーと共に走りぬぎ、無事全員がゴールすることができました。

アキレストラッククラブのメンバーは、2005年から毎年参加、今回で4回目となりました。レース参加に向けて、視覚障害者とガイドランナーの手と手をひもで結び、一緒に走る練習を続けるとともに、互いの信頼関係を築いてきました。当行東京支店CEOであるパトリック ジロは、次のように語っています。「わたしたちはアキレストラッククラブをサポートできることを、大変うれしく思っています。当行スタッフも、アキレストラッククラブメンバーとともに香港マラソンに参加し、走ることを楽しみにしています。アキレストラッククラブは、素晴らしいパートナーとしてわたしたちの社会貢献活動や、募金活動に協力してくれています」

最終レースとなる香港マラソンが終了し、GROE2007/08年大会の総合優勝は、男女ともにケニアのチームに決定しました。今年で参加2回目となるチームジャパンからは、山下部 隆(やまかべたかし)さん(32歳・会社員)が香港マラソンに出場、2時間36分21秒にてフルマラソンを完走。これにより、山下部さんのほか、近藤貴さん、澤津橋英昌さん、西山幸宏さんから成るチームジャパンは、北東アジア地域において第2位を獲得しました。

チームジャパンプロフィール: <http://www.standardchartered.co.jp/japanese/TeamJapan.html>

また、GROEの一環としてスタートした環境支援プログラム「環境チャレンジ」には、これまでに全世界から80万件を超える「誓い」が集まっています。これは、環境のために簡単に実行できる誓いを、GROEのウェブサイト*から登録してもらうプログラムで、人々の環境問題に対する意識を高め、個人が日常生活の中でできる環境への取り組みについて考える機会と同時に、環境問題で苦しむ国々のサポートを目的にしています。3月17日(月)の締め切りまでに、誓いの登録時に選ぶサポート国として投票数が多かった上位3カ国に対して、その国の環境プロジェクトに、当行より総額100万米ドルを寄付します。(4月4日発表予定)

* http://www.thegreatestraceonearth.com/your_enviro_pledge/jpn/index.jsp

当件に関するお問い合わせはスタンダードチャータード銀行コーポレートアフェアーズ部にて受け付けます。

森田 早智

Tel: 03-5511-1245 / Fax: 03-5511-9311

Sachi.Morita@standardchartered.com

部長 クリストファー・ドミター

Tel: 080-1037-6223 / Fax: 03-5511-9311

Christopher.Domitter@standardchartered.com

(日本語で対応します)

スタンダードチャータード銀行- アジア・アフリカ・中東地域における先駆者として

スタンダードチャータード銀行の最終持ち株会社であるスタンダードチャータード・ピーエルシーは、ロンドン証券取引所ならびに香港証券取引所に上場し、時価総額ベースでFTSE100 構成銘柄の上位25社にランキングされています。ロンドンに本拠地を置く当行グループは、創立以来150 年以上の歴史を誇り、世界で最もダイナミックな市場ーアジア・アフリカ・中東地域における先駆者として事業展開しています。過去5年間において、その収益と行員数は2倍強となりましたが、これは主として事業母体の収益成長(オーガニック成長)、加えて、買収事業の後押しによるものです。

私たちは、ステークホルダーである皆様の「真のパートナー」として、実績で他行をリードする、世界最高のインターナショナルバンクを目指しています。当行グループは、現在、全世界で100 以上の国籍によって構成される総勢60,000余名の行員を擁し、50カ国以上に1,400店舗の事業ネットワークを展開しています。また、グループ総収益の9割は、アジア・アフリカ・中東地域における事業収益であり、ホールセールバンキング、コンシューマーバンキング両部門から計上されるバランスの取れた収益となっています。

また、当行グループは、長期的視野に立ったサステナビリティ(持続的成長)のある事業構築に取り組んでおり、高いレベルでの企業統治(コーポレートガバナンス)を保持、また、社会的責任を果たし、環境保護と多様性のある人材育成を行っていることから、世界中の信頼を勝ち得ています。

日本・アジア地域におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜にはじめての駐在員事務所を開設した1880 年にさかのぼり、今年で128 年目を迎えました。現在では、東京支店(千代田区・山王パークタワー)および丸の内支店において、約250名の従業員を擁しています。スタンダードチャータード銀行は、アジア、アフリカ、中近東の各地域で投資事業を展開する日本の企業法人・金融法人のお客様にはホールセール(大口金融)、カस्टディ、トレジャリー、トレードファイナンス等の業種に沿ったサービス、また、個人のお客様にはプライオリティバンキングサービスを提供しながら、さらなる成長を続けています。

世界におけるスタンダードチャータードのウェブサイト(英語): www.standardchartered.com

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(日本語): www.standardchartered.co.jp

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(英語):

www.standardchartered.co.jp/index_english.html

日本におけるスタンダードチャータード銀行プライオリティバンキングのウェブサイト(日本語):

www.standardchartered.co.jp/cb/pb/

アキレストラッククラブについて

アキレストラッククラブは、視覚障害者を含めた身体と心に障害をもつランナーと一般市民が共にランニングを楽しむためのランニンググループです。スタンダードチャータード銀行は、2004 年 10 月に視覚障害者のグループをサポートすることと、視覚障害についての意識を高めることを目的に、スポンサーシップ契約を結びました。以来、当行主催 Greatest Race on Earth (GROE)のひとつ、香港で行われるマラソン大会に、毎年アキレストラッククラブの視覚障害者ランナーと伴走ランナー10 名程度が参加、当行スタッフがボランティアとして同行、サポートしています。アキレストラッククラブは、わたしたちのパートナーとして、地域への貢献活動や、回復可能な視覚障害者支援プログラム Seeing is Believing の募金活動に協力しています。